

小田原城 天守閣

Odawara Castle Tower

小田原城天守閣 来館記念スタンプ「虎朱印」

スタンプは天守付櫓ホール(入場券販売所前)に設置しています



虎朱印に刻まれている「^{ろくじゅう おうおん}禄壽應穩」(禄寿应稳)には、禄(財産)と寿(生命)が応(まさ)に穩やかであるように、人々が平和で暮らすという願いが込められているといわれ、小田原北条氏二代氏綱から五代氏直までの歴代当主が用いました。

¥ 入場料

	個人		団体(30名以上)	
	一般	小・中学生	一般	小・中学生
天守閣入場券	500円	200円	400円	160円
天守閣・常盤木門 2館共通券	600円	220円	480円	170円
天守閣・常盤木門・歴史見聞館 3館共通券	700円	250円	560円	180円



開館時間

午前9時～午後5時
(午後4時30分入館締切)
※時期により開館時間を延長します



休館日

12月31日・1月1日
(天守閣は12月第2水曜日も休館)



お問い合わせ【小田原城】

TEL・FAX 0465-22-3818
小田原城天守閣：神奈川県小田原市城内6番1号
小田原城歴史見聞館：神奈川県小田原市城内3番71号



小田原城址公園

Odawara Castle Park

小田原城は、15世紀中頃に大森氏が築いた城を前身とし、北条早雲(伊勢宗瑞)に始まる小田原北条氏の本拠となって以降、関東支配の拠点として整備されました。そして、豊臣秀吉との小田原合戦を前に周囲9kmにおよぶ総構を構築し、日本最大級の城郭となりました。

北条氏滅亡後には、徳川家康の家臣である大久保氏が城主となります。小田原城は、北条氏時代の姿を継承しつつも、改修されながら用いられていきますが、大久保氏の改易により破却されることとなりました。その後、稲葉氏が城主となりますが、寛永10年(1633)の地震により、城も城下も潰滅的な被害を受けます。そのため、稲葉氏は小田原城を大規模に改修し、小田原城は現在見られるような近世城郭としての姿に生まれ変わりました。

明治維新を迎えると、明治3年(1870)に小田原城は廃城となり、建物は解体・売却されます。城跡は陸軍省の管轄を経て御用邸として用いられることとなりますが、大正12年(1923)の関東大震災を期に神奈川県・小田原町(小田原市)へと払い下げられることになります。

現在、小田原城の本丸・二の丸一帯に相当する城跡公園は国指定史跡・都市公園に指定されており、往時の姿を取り戻すよう、史跡整備が進められています。



- | | | |
|-----------|--------|---------|
| うめ | さくら | 国指定史跡区域 |
| つつじ | はなしょうぶ | 城址公園区域 |
| あじさい | はす | 正規登城ルート |
| 天然記念物(樹木) | | |

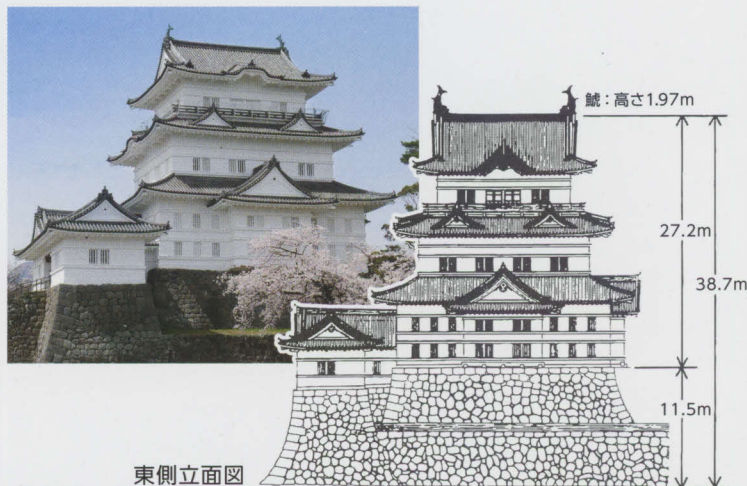
天守閣

【昭和35年復興】

鉄筋コンクリート造 3重4階
本瓦葺き 総瓦枚数63,440枚
延床面積 1,822㎡
総工費8,000万円

江戸時代に造られた模型や引図を基に、昭和35年(1960)に鉄筋コンクリート造で復興されました。三重四階の天守に付櫓・渡櫓を付した姿となっていますが、現在は内部五階で、最上階の高欄付きの廻廊も復興に際して新たに付けられたものです。

現在の天守閣の中では、甲冑や刀剣、絵図・古文書、考古資料など、小田原城や小田原北条氏の歴史を伝える資料を展示しています。



ときわ ぎ もん
常盤木門
【昭和46年再建】

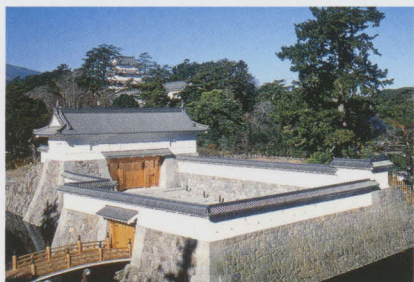
木造
渡櫓門



小田原城本丸の正門にあたり、最も大きく堅牢に造られています。2つの多聞櫓と渡櫓門から成る枡形門で、前面には「坂口門」がありました。本丸の名松「巨松」になぞらえて、「常盤木門」の名が付けられたと言われています。

あかがねもん
銅門
【平成9年復元】

木造
渡櫓門



馬屋曲輪から二の丸に通じる位置にあり、二の丸の正門にあたります。入母屋造瓦葺きの渡櫓門で、土塀で周囲を囲んだ枡形門の構造となっています。渡櫓門の大扉は、「銅門」の名の由来となった銅版・銅鉾で美しく装飾されています。

うま だし もん
馬出門
【平成21年復元】

木造
高麗門



「馬出門」は馬出口に位置する門で、高麗門形式の馬出門と内冠木門から成り、土塀で周囲を囲む馬出枡形を形成しています。門の復元に際し、馬出門の北側の石垣には国指定史跡早川石丁場群で出土した石を転用しました。

ごようまいくるわ
御用米曲輪
【平成23年度から整備中】



江戸時代には幕府の米蔵が位置する場所でした。発掘調査の結果、戦国時代の建物や池・庭園の跡等が見つかり、戦国期小田原城の中心の一つであったことがわかりました。

i 小田原城址公園インフォメーション

花ごよみ

- うめ 1月下旬～2月下旬
- さくら 3月下旬～4月上旬
- つつじ 4月中旬～5月上旬

- ふじ 4月下旬～5月上旬
- はなしょうぶ 5月下旬～6月下旬
- あじさい 6月中旬～7月上旬
- はす 7月中旬～8月中旬

主な行事

- 梅まつり 2月上旬～2月下旬
- 桜まつり 3月下旬～4月上旬
- 小田原北條五代祭り 5月3日

- 小田原城あじさい花菖蒲まつり 6月上旬～6月下旬
- 小田原城ちようちん夏まつり 7月下旬
- 小田原城菊花展 11月上旬～11月中旬

城址公園内の案内

時間：午前9時～午後4時 場所：二の丸観光案内所
お問い合わせ：NPO法人小田原ガイド協会 TEL 0465-22-8800

ガイドが
名所・旧跡を
案内します

甲冑・忍者の着付け体験

料金：大人(中学生以上)300円/小人(小学生以下)200円
時間：午前9時30分～午後4時(最終貸出は午後3時30分)
場所：小田原城本丸広場 常盤木門内
お問い合わせ：小田原城情報館 TEL080-6887-2154
小田原市観光協会 TEL0465-22-5002

簡単に
武士や忍者や
お姫様に
変身できます



天守閣・常盤木門・歴史見聞館ではWi-Fiが無料で使えます

SSID: skylink-spot PASS: 11088011

※下記URLの利用規約にご同意のうえご利用下さい

http://www.skylink.ne.jp/company/pdf/skylinkspot_terms_Rev200.pdf



企画展示室4 その後の小田原城

明治時代から現代に至る小田原城の歴史を、古写真を中心に紹介します。

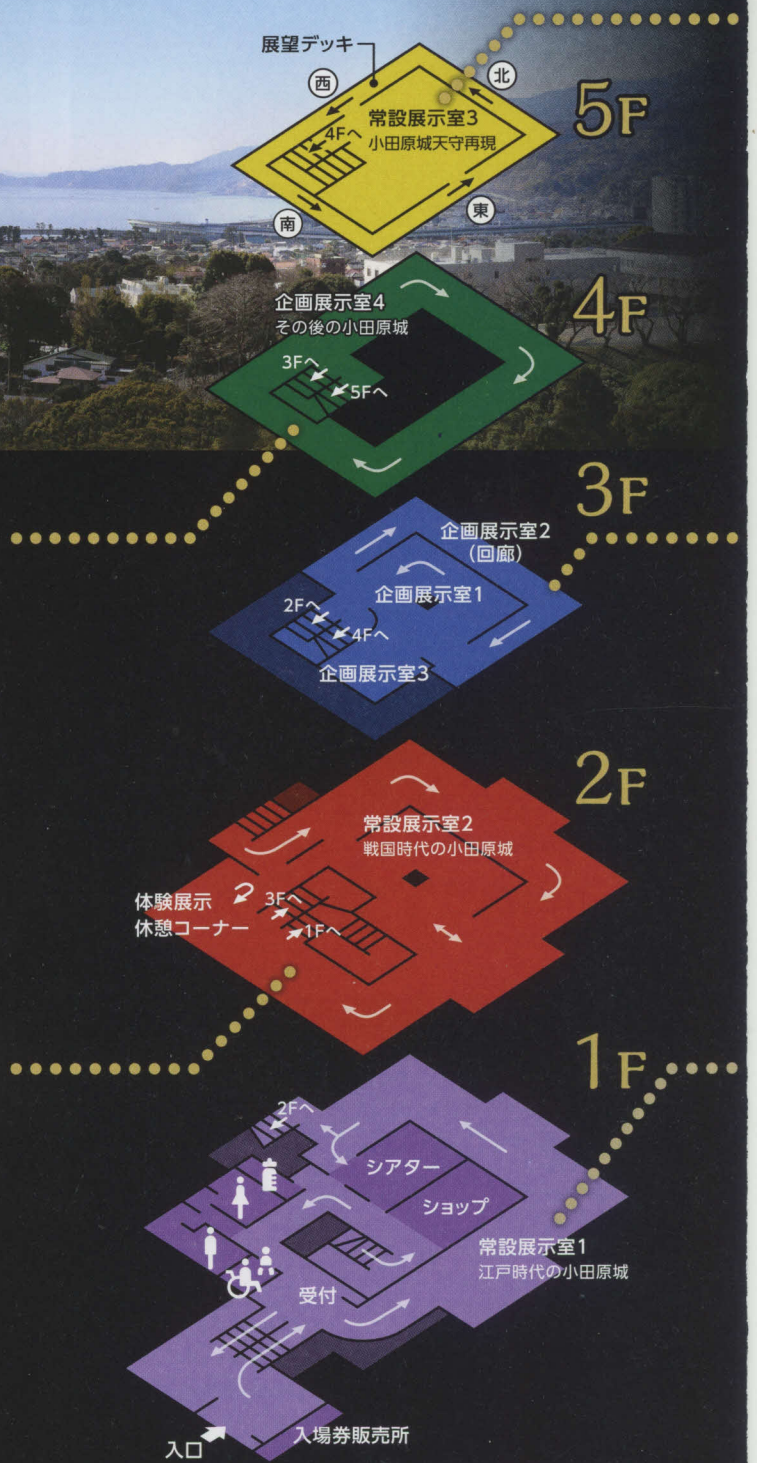
※時期により展示内容が変更になる場合があります。



解体中の天守 明治3年(1870)頃

常設展示室2 戦国時代の小田原城

小田原城を本拠とした戦国大名小田原北条氏の事績と、歴史上名高い小田原合戦について紹介します。



※各階の色は、北条氏康の馬印「五色段々」をイメージしています。



常設展示室3 小田原城天守再現

江戸時代に天守にまつられていた摩利支天像の安置空間を再現し、再現に生かされた職人の技を映像で紹介します。



企画展示室1 企画展示室2(回廊) 企画展示室3

小田原ゆかりの美術工芸や甲冑・刀剣、小田原城周辺の発掘調査成果などを紹介します。

※特別展等開催時には展示内容が変更になる場合があります。



常設展示室1 江戸時代の小田原城

江戸の西を守る小田原城の役割や徳川將軍家との関わり、東海道の宿場町小田原の繁栄を紹介します。



小田原城 略年表

応永24年	1417	上杉禪秀の乱の戦功で大森氏が小田原周辺の領地を得る
文亀元年	1501	この頃までに北条早雲(伊勢宗瑞)が小田原城に進出する
永禄4年	1561	上杉謙信に小田原城を攻められるも、籠城戦で退ける
永禄12年	1569	武田信玄に小田原城を攻められるも、籠城戦で退ける
天正15年	1587	「相府大普請」、小田原城総構の構築が始まる
天正18年	1590	小田原合戦、豊臣秀吉の前に開城し、秀吉の天下統一が成る 徳川家康の重臣大久保忠世が城主となる(約4万5000石)
慶長19年	1614	大久保忠隣が改易され小田原城破却、幕府直轄の番城となる
元和5年	1619	阿部正次が城主となる(約5万石)
寛永元年	1624	再び幕府直轄の番城となる 小田原城を二代將軍徳川秀忠の隠居城とする計画が立てられる
寛永9年	1632	稲葉正勝が城主となる(約8万5000石)
寛永10年	1633	小田原城の修築工事が開始される 寛永小田原地震、修築中の城と城下に大きな被害が出る
寛永11年	1634	三代將軍徳川家光が小田原城に宿泊する
延宝3年	1675	寛永10年以来の小田原城の修築工事が完了する
延宝8年	1680	加増されて小田原藩領が最大になる(約11万7000石)
貞享3年	1686	大久保忠朝が城主となる(約10万3000石、のち1万石加増)
元禄16年	1703	元禄地震、天守をはじめ小田原城の諸施設が倒壊・焼失する
宝永3年	1706	元禄地震で失われた天守が竣工する
宝永4年	1707	富士山が噴火
天明2年	1782	天明地震、天守が傾く(ロクロで引き起こす)
嘉永5年	1852	小田原の海浜に3基の台場が完成する
嘉永6年	1853	相州小田原大地震、小田原城の櫓・石垣等に被害が出る
慶応元年	1865	十四代將軍徳川家茂が二の丸御屋敷に宿泊する
明治3年	1870	廃城の願書を提出し、天守などが売却・解体される
明治26年	1893	天守跡地(天守台)に大久保神社が建てられる
明治34年	1901	小田原城址に御用邸が建てられる
大正12年	1923	大正関東大地震により石垣や二の丸隅櫓が倒壊する
昭和2年	1927	御用邸跡(小田原城址)が払い下げられる
昭和9年	1934	二の丸隅櫓が復興する
昭和13年	1938	小田原城址が国指定史跡となる(第1次指定)
昭和25年	1950	小田原こども文化博覧会が開催される
昭和35年	1960	天守閣が復興する
昭和46年	1971	常盤木門を再建する
平成9年	1997	銅門を復元する
平成21年	2009	馬出門を復元する
平成28年	2016	天守閣の耐震補強工事、展示の大規模リニューアルを行う